

第217回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成28年4月11日(月) 11:00~12:00

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 6人
出席委員数 5人

(1) 出席委員の氏名 片山 貴之 (委員長)
君島 理恵 (副委員長)
青木 敬信
早川 富美子
町田 明久

(2) 欠席委員の氏名 畠山 大

(3) 放送事業者側出席者 大森 敏秋 (代表取締役社長)
佐藤 望 (放送部長)
古寺 雄史 (放送部課長)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

3月10日の午後1時30分から放送した東日本大震災特別番組
「5years、これから・ここから」について、試聴と意見交換を行った。

事業者

東日本大震災発生から5年。この特別番組では、被災した方々へのインタビュー、ボランティアの取り組み、栃木県出身のアーティストが音楽を通じておこなった活動などを紹介しながら、現状の課題、自然災害への防災意識の向上を呼びかけました。

メインのMCは、弊社アナウンサーの渡辺裕介が担当しました。

【 番 組 の 試 聴 】

委員：

震災から5年というタイミングで「5年前との変化」と「5年間続いていること」について特別番組を企画し、防災や減災に役立つ情報を伝えたことは、大変評価出来る。番組趣旨、中身ともに素晴らしかったが、BGMなどの選曲も良かった。

委員：

インタビューしたコピスガーデンの佐々木さんは、淡々とした語りではあったが、大変ご苦労があった様子が伝わってきた。

また、アキモトさんの「無理をしない支援」や「娯楽も大切」という言葉に共感した。

シンガーソングライターの浜崎さんは、一つ一つの言葉を選んで話していて、インタビュー後にかかった彼の曲も、とても想いが込められた印象的な曲だった。

委員：

この手の番組は、インタビューの人選が重要なポイントになるが、いろいろな分野からの人選があり、それぞれにこういう背景があったんだなと関心することばかりだった。

また、震災を扱う番組であるが、あまり気負わずに自然さが感じられ、聞きやすかった。

委員：

全体的には、もう少し踏み込んだ質問をして、さらに色々なことが聞き出せていたら、さらに内容が良くなっていたと思う。

例えば、インタビューの相手の経歴紹介については、もう少し丁寧に紹介してほしかった。

また、佐々木さんへのインタビューパートでは移住地に那須をなぜ選んだのかを、もっと詳しく聞き出してほしかった。

事業者：

今回のインタビュー相手には1時間ほどの時間を割いてもらって現地で収録をした。それを6～7分のインタビュー素材に編集をして、放送をした。

委員：

番組中、深いメッセージがたくさん散りばめられていたが、全体を通して聞くと、インタビューを並べたごく平坦な構成になっており、リスナーの立場に立つと、放送時間が比較的長い特別番組としての聴取には、厳しいところがあったかもしれない。

こうして、まとまったものを集中して聴くのも悪くはないが、毎週放送している生ワイドの中で、震災特集として何回かにわけて放送してもよかったと思う。

事業者：

この特別番組の他には、金曜午後の生ワイドでも、震災を振り返る内容で放送を行った。

来年以降も、この時期に毎年何らかの形で、震災をテーマにした番組を企画、放送していきたい。

委員：

毎年この時期は、多くの放送メディアが震災をテーマにした特別番組を放送している。

栃木も東日本大震災の被災地であり、その視点に立った内容で、県域ラジオ放送局としての工夫の

ある放送を期待したい。

(以上)

(2) その他
なし

(3) 次回開催日程について
次回の開催を5月9日(月)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日
なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

- (1) 放送 4月24日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内
- (2) 書面 本社事務所に備え置き
- (3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項
なし